

ベトナムとタイにおいて自治体等職員に対する研修を実施

シンガポール事務所

2024年（令和6年）8月14日（水）から8月24日（土）（国内研修3日間含む）にかけて、ベトナム（ハノイ）及びタイ（バンコク）において、「自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～」と題して、全国市町村国際文化研修所（JIAM）との共催により、視察研修を実施しました。

研修には9名の自治体等職員の参加があり、ベトナムでは現地機関のハノイ市内務局やリエンビエットハノイ校（技能実習生等送り出し機関）、日系機関の在ベトナム日本国大使館やJETRO・JNTOハノイ事務所、AKURUHI スーパーマーケット（日系スーパーマーケット）などを訪問しました。

タイでは現地機関のバンコク都やシーナカリンウィロート大学、日系機関の在タイ日本国大使館やJETRO・JNTOバンコク事務所、ドンドンドンキ（日本名：ドン・キホーテ）MBKセンター店などを訪問しました。

昨年度と同様に2か国で研修を実施し、訪日観光や販路開拓における両国の違いなどを比較したほか、現地の方々との意見交換・街頭アンケートを行程に組み込むことで「交流」の意義を実感できる研修となりました。限られた時間であったものの、延べ16にのぼる視察先を訪問しました。

1 ハノイ市人民委員会（ベトナム）

ベトナムの首都であり、政治・文化の中心地と言われているハノイ市に赴き、内務局・計画投資局・外務局より、それぞれハノイ市の概要や経済状況、そして国際交流の取り組みなどの説明を受けました。日本とは異なる国・地方政府の制度を丁寧に教えていただいたことに加え、行政改革やDXに力を入れている話を聞くことができました。

研修生からも、自らの業務に関する質問を中心に多くの発言があるなど、行政として同様の課題があることを感じていました。



視察終了後に参加者で記念撮影

2 JETAA との意見交換会（ベトナム）

ベトナム JETAA 支部は、昨年度の2023年11月に設立された、シンガポール事務所管内で5つ目のJETAA支部です。

本研修の目的でもある「交流」として、夕食会場にJETAA支部メンバーを招聘し、研修生との意見交換を実施しました。JETAAメンバーがCIRとして日本に住んでいたことから、研修生からは日本とベトナムの文化・生活の違いなどを積極的に尋ねていました。

さらに、日本で事前に準備していた質問も行うなど、非常に充実した意見交換となりました。



ベトナムJETAA（手前）に観光関係の質問をする研修生

3 JETRO バンコク事務所（タイ）

JETRO バンコク事務所では、JETRO の事業内容やタイの経済状況などについて説明を受けました。同事務所には日本の自治体からの派遣職員もおり、自治体職員の立場から見た海外で活動する意義や困難などを聞く貴重な機会を得ました。

研修生からタイ企業の日本進出に係る立地条件やスタートアップへの支援の状況などについて積極的に質問し、活発な意見交換が行われました。



タイにおける日本企業の活動について説明を受ける研修生

4 バンコク都（タイ）

バンコクの官庁街に位置しているバンコク都観光局を視察しました。観光プロモーションのみならず、地域コミュニティの活動の支援やインフラ整備の推進といった間接的に観光振興に資する同局の活動などについて説明を受けました。研修生からは、いわゆる「聖地巡礼」やオーバーツーリズムに関する質問が出るなど、日本・タイの共通点・相違点を深掘りし、充実した視察となりました。



バンコク都観光局庁舎の前で記念撮影

この度の研修は、官民間問わず幅広い分野において、ベトナム及びタイでの取組や、日本とそれらの国々の違いについて知見を深める機会となりました。

（宮田所長補佐 福島県白河市派遣）
（西本所長補佐 栃木県派遣）